



あゆみち
わたしの歩んだ道
PATISSERIE
LE CIEL
まつなみまさふみ
松波政文さん
〈プロフィール〉
ホテルプラザ勝川のシェフパティシエとして、ホテルのあらゆるデザートを担当する。来年10月にドイツで開催される「第24回世界料理オリンピック」に出場する日本ナショナルチームのメンバーに選ばれる。

プロ野球選手を夢見た少年時代
和洋菓子店を営む家庭に育ち、幼稚園のころから店の手伝いはしていました。たが、菓子作りより野球が好きで、小学校・中学校時代は野球チームに所属し、プロ野球選手を夢見ていました。

きっかけは顧問の言葉
熱中した野球でしたが、高校で特待生に選ばれずプロは断念し、バレーボール部に入部しました。進路は経験



定番のショートケーキも、よりおいしいものを目指し、ソースを変えるなど毎年工夫を重ねています。

衝撃の出会い
店で働きたしたものの、家で手伝っていたためか、先輩の腕前を見ても「自分でもできる」と変な自信を持っていました。そんな時出会ったのが、2つ上の先輩の松島義典さんでした。松島さんの腕前を見たとき、そのセンスと技術の高さに衝撃を受け「この人にはかなわない」と今までの自信が打ち砕かれました。その後、松島さんは他の店に移りましたが、同じ道を歩んでもとても追い付くことはできないと思

い、神戸の洋菓子店・レーブドウシエフに入りました。
新たな出会い
レーブドウシエフでは、寝る間を惜しんで洋菓子作りをしました。この時は、常に洋菓子のことを考えていたような気がします。オーナーシエフの野靖夫さんは、材料費を気にせず洋菓子を作らせてくれました。みんなで純粋に菓子に向き合い、時にはけんかもしながら、高め合っていました。
そして春日井へ
その後、松島さんの誘いを受け、名古屋マリオートアソシアホテルに勤めました。そして、再び松島さんの勧めで、ホテルプラザ勝川に入りました。春日井は交通の便が良く、新鮮な食材



未来をつくる君たちへ
人生のターニングポイントにはいつでも恩師や目標となる人との出会いがありました。この出会いがなければ、今の自分はなかったと思います。
皆さんにも、これからたくさんの出会いが待っています。一つ一つの出会いを大切にして、自分にしか歩めない人生を切り開いてってください。

が豊富に手に入り、洋菓子作りに非常に適した環境です。
より高みを目指して
現在、来年10月に開催される世界料理オリンピックに向け、毎日試行錯誤しています。レーブドウシエフでの日々が、今につながっているのかなと感じます。私は人生において「終わりはない」「ベストはない」と思っています。これからも、日々の発見を楽しみながら、新しいデザインや味を追い求め続けていきます。